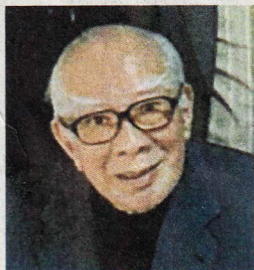


2021年(令和3年)8月6日(金曜日)

多芸で謙虚な「大阪商人」

わだ りょうすけ
和田 亮介さん

(元和田哲<現ワテックス>会長)

繊維の街、大阪・船場を象徴する経営者だった。文筆家の顔を持ち、発信力を買われて大阪商工会議所の中堅・中小企業委員会委員長を務めた。尺八や流しなど多芸で、人間的な厚みがある人をひきつけた。

東レを経て1958年に

清元

寝装具の老舗「和田哲」を経営する和田家に婿入り。社長時に創業者の教えをまとめた本「扇子商法」を執筆した。会社の永続のために景気に合わせて柔軟に事業を伸縮する中小企業経営のあり方は、多くの読者の共感を呼んだ。

出身は島根だが、人一倍「大阪商人」としての自覚が強かった。大阪の街づくりに尽力。中心部の景観改善のために、電信柱を撤去するプロジェクトでは旗振り役を担った。和田氏の娘婿でワテックス(元和田

哲)顧問の野村史郎氏は「商売より社会的な仕事の方が好きだった」と振り返る。

バイタリティーにあふれ周囲を先導しながらも、口癖のように「私は養子や」とつぶやき、謙虚さを心がけた。「21世紀には引退する」との公言通りに、ちょうど2000年に和田哲の社長から退いたのも粋だった。晩年は故郷の島根に戻り、「ご隠居公場」と題した会合を度々開いて友人らと旧交を温めた。

5月25日没、89歳

(荻野聡祐)